

認知症になっても 住み慣れた愛荘町で 暮らしたい！

認知症の主な症状

自覚のない
物忘れ
(記憶障害)

日時や場所が
分からない
(見当識障害)

ATM操作や料理など
手順が必要な
ことができなくなる
(実行機能障害)

「加齢によるもの忘れ」と 「認知症によるもの忘れ」は違います。

加齢によるもの忘れ

何を食べたのか
忘れた。

「どこかには入れた」と
覚えているが、どこに
入れたか分からない。

忘れていても「何時に集合
だった」「電話で約束したよね」
など言われると思い出せる。

例えば

昨日の
夜ごはんは？

鍵や財布などが
ない？

約束を守れない

認知症によるもの忘れ

食べたという出来事を
覚えていない。

どこかに入れたこと自体、
忘れている。「盗られた」と
思ってしまうこともある。

約束したことを
忘れている。

もの忘れが心配なときは、「教えてもらったときに、思い出せるか」が一つの目安になります。

認知症の人が尊厳を保持しつつ、
希望を持って暮らすことができるよう
「共生社会を実現するための認知
症基本法」が今年施行されました。

認知症とは、何らかの原因で脳の
働きが悪くなることによって「生活に
支障が出ている」ことをいいます。
認知症の主な症状には次のようなもの
がありますので、まずは認知症につ
いて正しく知りましょう。

認知症の方や家族を支える取組

●認知症サポーター養成講座

地域や職場で、認知症を正しく
理解し、ちょっとした気配りがで
きるサポーターを増やすための取
組です。認知症キャラバン・メイ
トの皆さんが、紙芝居や寸劇を通
して、認知症について分かりやす
くお話しします。



認知症キャラバン・メイトが小学校で認
知症についての講座を行いました。児童た
ちは大型紙芝居を見て、たくさんの意見を出
してくれました。



愛荘町を含む湖東エリアの郵便局職員さん
に講座を受けていただきました。認知症のお客
様にどのように対応するか、認知症キャラバン・
メイトと一緒に真剣に考えていただきました。

●認知症カフェ

認知症の方やご家族、認知症に
ついて興味のある方など、どなた
でもご参加いただけます。

脳トレや認知症の勉強会、専門
職への相談もできます。奇数月は
秦荘図書館、偶数月は川久保地域
総合センターで開催中です。



認知症カフェ「ふらり」では、参加者の方が
やりたいことに取り組まれています。これは参
加者が作成した作品です。お話しするだけ
でも大歓迎です。



図書館とコラボで開催しました。
懐メロで青春時代を思い出したり
音読をしたりしました。

●認知症初期集中支援チーム（オレンジファイブ）

認知症になっても本人の意思が尊重され、本人と家族が
安心して暮らし続けるために、医療・介護の専門職による
チームが自宅を訪問し、適切な医療や介護に繋ぐ支援を行
います。豊郷病院と連携し、サポートを行っています。

●認知症見守りQRシール登録事業

認知症の方が外出し、道に迷うなどして
行方不明になった場合に、見守りQRシール
を持っていると、役場や警察署で登録番号
から身元を確認ができ、すぐに保護ができ
る仕組みです。

認知症の1番の原因は加齢です。高齢者の5人に1人が認知症になるといわれるほど身近なこと
であり、自分ごととして考えなければなりません。認知症になったら何もできないのではなく、
できること・やりたいことはたくさんあります。住み慣れた地域で人とつながりながら、役割を
果たし、自分らしい生活ができるよう、地域全体で支え合えるまちづくりを目指しています。

●早期発見が大切です。

認知症になる前に「もの忘れが増えてきた」などの、MCI（軽度認知障害）と呼ばれる前
段階があります。この段階で生活を改善することによって、認知症の発症を防いだり遅らせ
たりできることが分かってきました。認知症の進行を遅らせることができる薬もあります。
心配がある場合は早めに相談をしましょう。

また、本人には自覚がないこともありますので、家族や周囲の声かけが大切です。ひとり
で悩まず相談しましょう！

●主な相談窓口

- 病院・診療所（かかりつけ医）、認知症相談医
- 地域包括支援センター（本庁舎 別館）、地域の民生委員
- 認知症のひとと家族の会 滋賀県支部「もの忘れ介護相談室」10：00～15：00（平日のみ）
☎0120-294-456（フリーダイヤル）
☎050-5358-6578（携帯電話・スマートフォン）

☎ 地域包括支援センター ☎0749-42-4690